

神話『ブルーポールズ』

向殿 充浩

補足説明:

時代設定について

この物語は神話であり、それゆえ、第1巻は古代を舞台にしています。ただ、巻が進むにつれ、その時代設定は新しい時代に移ってきます。ここでは、神話の時代設定について述べさせていただきます。

第1巻(ヴァーサヴァの巻)は、概ね、紀元前千数百年を舞台にしています。騎馬戦術はまだなく、車を馬に曳かせる戦車が主な機動力でした。例えば、ラムセス2世の時代、カディシュの戦いなどの時代です。

第2巻(ヨシュタの巻)は、第1巻と同じような時代を舞台にしています。

第3巻(パキゼーの巻)は、ブッダをモデルとしたパキゼーが中心となる物語です。時代設定としては紀元前5世紀頃です。

第4巻(ルガルバンダの巻)では、騎馬戦術がでてきます。時代背景としては、紀元前3世紀前後です。

第5巻(ヴィダールの巻)では、時代は一気に新しくなります。第5巻の主要部は、20世紀の第二次世界大戦の頃が時代背景です。

第6巻(未来の巻)は、未来を舞台にしています。

第7巻(真理の巻)は、時代的には第6巻に続きますが、内容的には超時代的な内容となっています。

(2014年11月 / 最新改訂:2024年5月10日)